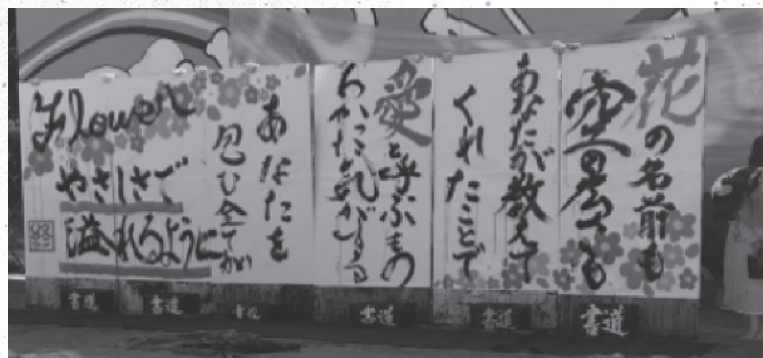
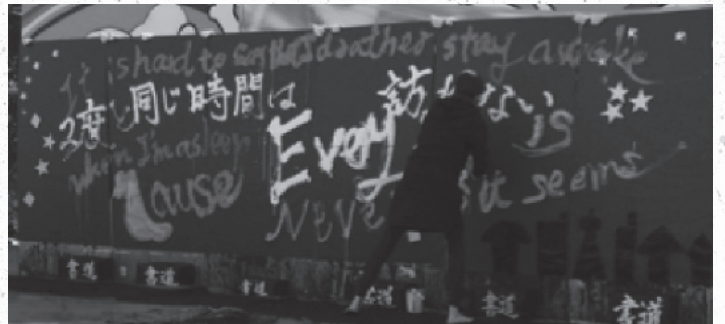


中央大学書道會

こんにちは！中央大学書道會です。寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今回は、白門祭にて行った書道パフォーマンスと中大書展の様子をお届けします。部員たちの力強いパフォーマンスと、作品の繊細な筆遣いをぜひご覧ください。

書道パフォーマンス

当日は快晴のお昼時で、多くの方々が見に来てくださいました。6チーム総勢53人によるパフォーマンスは、いずれも個性やこだわりが溢れるもので、私たちも楽しみながら行えました。道具や環境、観客の方々の存在に改めて感謝をし、今年のテーマである「報恩一恩に報いる」パフォーマンスができたように思います。



中大書展

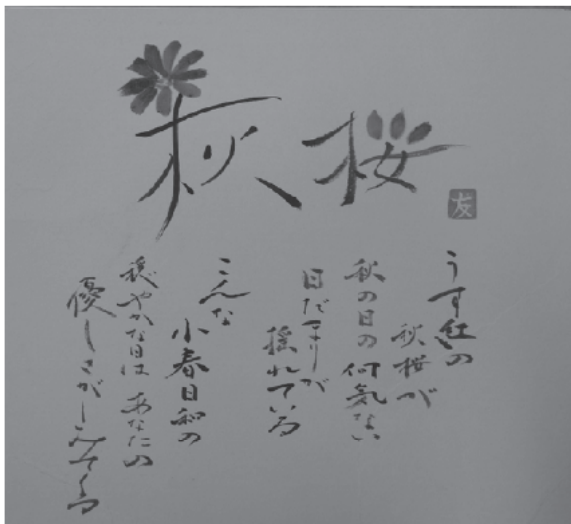


パフォーマンスと並ぶ書道會の白門祭の日玉企画、中大書展。白門祭期間の4日間にわたり図書館下ギャラリーで行われ、のべ633人の方々が来場されました。また、今年は初めて会員の書が入ったポストカードの販売もあり、大盛況で幕を閉じました。



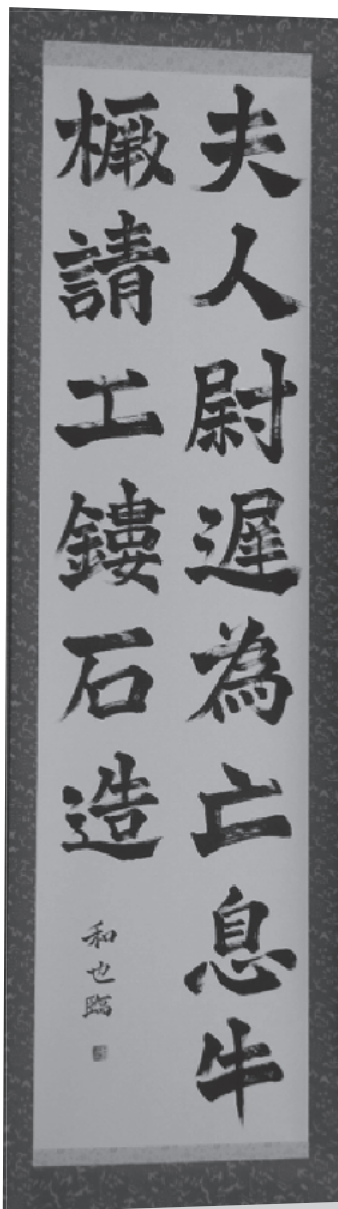
誌上書展

ここでは、中大書展の作品約40点の中から、2つの作品をご紹介します。誌上でも作品とその雰囲気をごゆっくりお楽しみください。



◎創「秋桜」
経済学部4年 竹内友紀

両親の好きな歌を作品にしました。陽だまりに揺れる秋桜を思い浮かべ、両親への感謝を込めて書きました。



◎臨「尉遲為牛轎造像記」
法学部1年 斎藤和也

力強い字を表現しましたが、まだまだ足りないと感じたので、より趣向を凝らした作品を創ろうと思います。